

科目の種類	必修	科目名	理科総合B	学年	1	単位数	2
コース	文理特進・進学・スポーツ						
教科書	大日本図書「改訂 理科総合B」						
副教材							
<p>科目のねらい</p> <p>(1) 自然の事物・事象について、「多様性と共通性」、「変化と平衡」という2つの視点から、とらえることができるよう、自然の見方、探究の仕方を養います。</p> <p>(2) 地球にみられる多様な景観は、地球内部エネルギーと太陽放射エネルギーの相互作用によって変化しつつも平衡に保たれて形成されることを理解し、動的平衡の概念を学習します。</p> <p>(3) 地球規模の大気と水の循環が起こるしくみについて学習し、大気と水の循環が地球環境に及ぼす影響を理解します。</p> <p>(4) 太陽系の各惑星の特徴を理解し、地球に生物が生存する条件を理解します。</p> <p>(5) 地球に生命が誕生してから現在の生物界までの変遷の過程を、地球環境の変化と関連づけながら理解します。</p> <p>(6) 生物の多様性を生じるもとになった遺伝の法則を理解し、遺伝子の本体を学習します。</p> <p>(7) 地球上の多種多様な生物には共通性があることや、類似した特徴をもとにグループ分けできることを理解し、生物とそれを取り巻く環境とが相互に関係していることを学習します。</p>							
<p>授業の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球をグローバルな視点で捉えられるよう、工夫して授業を進めます。 単元毎に小テストを実施します。 							
<p>より良く学習を進めるためのアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物に興味を持ちましょう。 季節の移り変わりに敏感になりましょう。 新聞やニュースなどから最新の情報を得るよう努力しましょう。 単元の予習をし、疑問を持って授業に臨みましょう。 							
<p>評価方法</p> <p>テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期試験（年3回）の点数が評価の中心です。 定期試験に平常点を加味して、総合的に評価します。 							
<p>平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 小テストの点数 提出物点：ノートやレポートの完成度 出席点：全授業出席を満点として、結果時数に応じて減点します。 態度点：授業に臨む態度、遅刻などで評価します。 理科的能力：質問の対応などから、理科的な能力を判断します。 							

	学習単元	単元の内容とねらい
前期	第1章 地球の移り変わり 1. 宇宙から見た地球 A 太陽系と惑星 B 水の惑星「地球」の誕生 2. 動く大地 A 大地の変動と地層 B 山脈の形成とプレート C 変化を続ける地球	A 太陽系の惑星を、木星型と地球型に分類します。 B 地球に生物ができる条件を考察します。 原始地球の誕生過程や原始地球の進化について理解します。 生命誕生について理解します。 A 地質構造を理解します。 B プレートテクトニクスを理解します。 プルームテクトニクスを理解します。 C 地震や火山活動の原因を理解します。
	試験実施せず	
後期	第2章 生物の移り変わりと遺伝 1. 生物の誕生と移り変わり A 地球の歴史と生物の移り変わり B 光合成生物出現と大気の変化 C 生物の陸上への進出と繁栄 2. 遺伝の規則性 A 遺伝のしくみ B 遺伝子の本体	A 原始生命体の誕生した場所や過程について理解します。 B 光合成生物出現過程・環境への影響について理解します。 * 生物の形質が子孫に伝えられる遺伝現象について理解します。 A エンドウマメの交雑実験の意義について理解します。 遺伝の法則を理解します。 複対立遺伝子の遺伝現象について理解します。 性染色体による性決定と伴性遺伝について学習します。 B 遺伝子の本体がDNAであること、また構造を理解します。
	第 2 回 定期考査	
後期	第3章 地球のすがたと大気の流れ 1. 地球のすがた A 地球の景観 B 地表の変化 C 日本列島に見られる地形 2. 大気と水の循環 A 大気と水の役割 B 大気と水の流れ C 日本の天気の特徴	A 噴出物の粘性により火山形状が決まることを理解します。 河川の浸食・運搬・堆積作用をから、地形形成を理解します。 氷河や海水の作用を学習し、作られる地形を理解します。 海底地形や島弧景観を学習し、成因について理解します。 B 大気圏の構造と、大気中の水の働きについて理解します。 地球の熱平衡の概念を理解できるようになります。 大循環が地球環境に及ぼす影響について理解します。 C 天気の変化の要因について理解します。 日本の天気の特徴を理解できるようになります。
	試験は実施せず	
後期	第4章 生物と環境 1. 地球上のいろいろな生物 A 生物の多様性 B 多用な動物とその生活 C 多用な植物とその生活 D その他の生物とその生活 2. 生態系 A 生態系とは何か B 陸上の生態系 C 水中の生態系 D 生態系における物質の循環 E 地球生態系	* 生物の多様性と共通性、環境への適応について理解します。 A 生物の特徴を基に、5つの界に分類できることを理解します。 B 軟体動物、環形動物、節足動物、脊椎動物を理解します。 C コケ植物、シダ植物、種子植物を理解します。 D 菌や原生生物を理解します。 A 生物を取り巻く環境要因や、食物連鎖、栄養段階など生態系の成り立ちについて理解します。 B 陸上の生態系を理解します。 C 水中の生態系を理解します。 D 生態系内での物質・エネルギーの流れについて理解します。 E 地球生態系を理解します。
	第 4 回 定期考査	
後期	第5章 地球環境の変化と人間生活 1. 地球の環境を考えよう A 生物が示す警告 B 地球環境の変化 2. 自然災害を考えよう A 地殻変動による災害 B 気象災害 3. 明るい未来を切り開くために	A 絶滅危惧種の状況を理解します。 環境ホルモンの実態を学習します。 B オゾンホールについて学習します。 A 地震や火山活動について検討・学習します。 B 海水面の上昇の影響を理解し、対策について検討・学習します。 A 自然浄化の仕組みを理解し、環境保全を学習します。 B 未来を生きるために何をすべきなのか検討・学習します。
	第 5 回 定期考査	

	A身近な自然の回復に向けて B環境を支える知恵と科学	
学	年	末 考 査